

部分ごとのお掃除

お風呂掃除で一番困る箇所として排水口があります。

お掃除とカビ予防方法を知ってお手入れの負担を軽減しましょう。

排水口

浴室排水口のお手入れ

排水口は髪の毛やゴミがたまりやすく、つまると悪臭の原因になります。排水口にはフタがしてありますので、ゴミを取り除いたあと、排水管のまわりを浴室用洗剤で洗い、元に戻します。

普段のお掃除

排水口のヘアキャッチのお掃除はこまめに行ってください。汚れやゴミがたまると排水効率が落ちて、浴槽下などに長時間水分が溜まり、カビや雑菌の繁殖の原因になります。

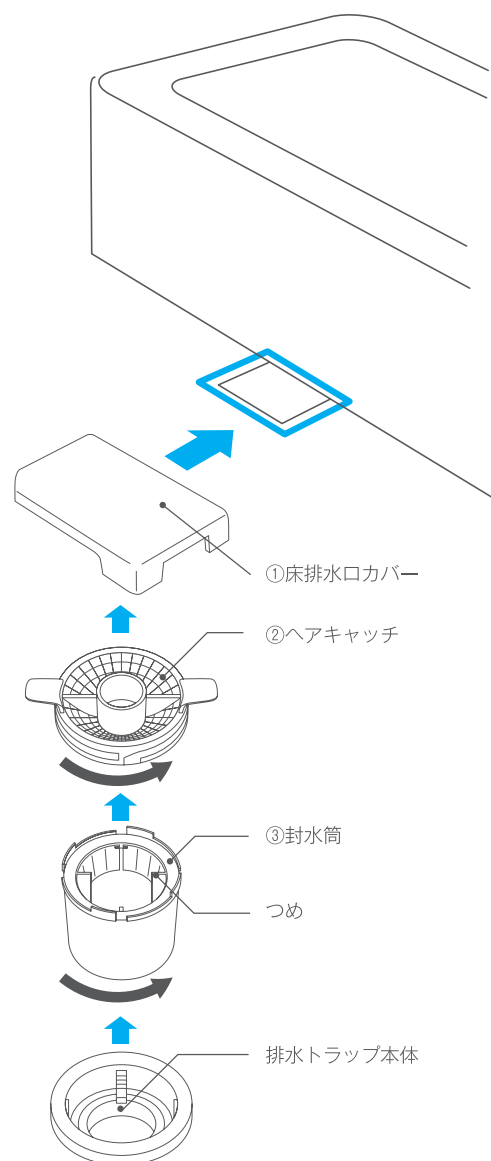
頻度の目安

- ・ヘアキャッチ: 毎日
- ・封水筒: 1週間に1回

作業手順

- ①床排水口カバーを取り外してください。
- ②ヘアキャッチを回して取り外してください。
- ③封水筒のつめを回して取り外してください。
- ④外した部品・排水トラップ本体の汚れを落としてください。また、ホコリ・ゴミなどを取り除いてください。

※清掃後は、逆の手順で取り付け。



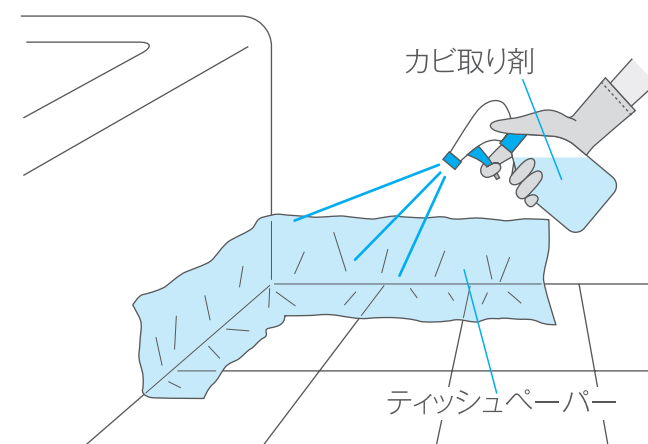
カビ

予防

カビが発生するには4つの条件が必要です。①湿度70%以上②温度0～45度③栄養分④カビの胞子の4つです。4つの条件が揃うと、わずか6時間でカビは生え始めます。浴室はこれらの条件が揃いやすい場所です。逆にこれらの条件のうち一つでも欠けるとカビは生えません。4つの条件のうち、温度とカビの胞子の条件を取り除くのはむずかしいので、カビ予防のためには、“湿度”“栄養分”をなくす工夫をしましょう。湿度については、まずは水が溜まりやすかったり、乾きにくい場所をチェックしてください。タイル等の目地、浴槽のフチなどは特に注意しましょう。また、栄養分になるものは、主に“皮脂”です。石鹸分と共によく洗い流すようにしましょう。

除去テクニック

カビが生えてしまったら、まずは目地用ブラシか歯ブラシや布でこすりながら、できるだけ水で掃除します。それでも取れない場合は、カビ取り剤を使いましょう。カビがひどい部分は、カビ取り剤を含ませたティッシュペーパーを当て、ラップで押さえてしばらく置いてからよく洗い流しましょう。



〔カビがひどい部分の除去方法〕

COLUMN

ユニットバスの寿命と特徴

ユニットバスの多くの部分は継ぎ目のない強化プラスチックの一体成形でできています。重い物を落としてヒビを入れたりしない限り、長くご利用いただけます。しかし、床などにヒビを入れてしまうと、

全体の交換となり、多額の費用が必要になります。ご注意ください。